

RAM+IRI

RAM(ラムシルマブ)+IRI (イリノテカン)

【適応】

治癒切除不能な進行・再発の胃がん（2次治療以降に使用する）

【投与スケジュール】

	Day1	...	14
RAM 8mg/kg 60分	↓		
IRI 150mg/m ² 90分	↓		

2週間を1コースとする。

※RAMの投与時間は初回60分（忍容性があれば2回目以降は30分まで短縮可）

※本剤の投与にあたっては、インラインフィルター(0.2または0.22μ)を使用すること。

※重度(Grade3以上)の Infusion reaction が現れた場合、本剤の投与を中止し、以降、本剤を投与しないこと。また Grade2 以下の Infusion reaction が現れた場合は、投与速度を減じて慎重に投与すること。

<RAM 減量の目安>

		1回目	2回目	3回目
蛋白尿	2-3g /日	休薬し回復後 6mg/kg で再開 (2週間以上回復しない場合は中止)	休薬し回復後 5mg/kg で再開 (2週間以上回復しない場合は中止)	中止
	>3g/日	中止	-	-
高血圧	≤Grade3 有症状	休薬し回復後 6mg/kg で再開	休薬し回復後 5mg/kg で再開	中止
	Grade3 無症状で2週間以上継続	休薬し回復後 6mg/kg で再開	休薬し回復後 5mg/kg で再開	中止
	Grade4	中止	-	-
Infusion reaction	Grade3-4	中止	-	-
その他	Grade3	休薬し回復後同量再開	休薬し回復後 6mg/kg で再開	休薬し回復後 5mg/kg で再開
	Grade4 (発熱・臨床検査値異常)	休薬し回復後同量再開	休薬し回復後 6mg/kg で再開	休薬し回復後 5mg/kg で再開

	Grade4 (上記以外)	中止	-	-
--	------------------	----	---	---

※UGT1A1 活性が低い症例

(UGT1A1 6 及び 28 のいずれかがホモ接合体またはダブルヘテロ接合体) の多型で好中球減少症や下痢の頻度が高くなるため、可能な限り治療前に測定しておく。ホモ欠損、ダブルヘテロ型では1段階以上減量して開始する。